



県内経済情勢 (令和4年7月判断)

令和4年7月27日

財務省関東財務局
千葉財務事務所


照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL 043-251-7213)

ホームページ <https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」









項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	

（注）令和4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	持ち直しつつある	
設備投資	3年度は増加見込みとなっている	4年度は増加見込みとなっている	
企業収益	3年度は増益見込みとなっている	4年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超となっている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化がみられる中で、原材料価格の上昇や供給面での制約による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響や為替の動向を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

スーパー及び家電販売額などは前年を下回っているものの、百貨店及びコンビニエンスストア販売額などは前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っている。飲食サービス、娯楽などは持ち直しの動きがみられる。このように、個人消費は、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 4月以降、外出自粛の緩和による内食需要の落ち込みに加え、原材料等価格の上昇に伴う商品価格改定の影響により、売上高・客数とも前年を下回っている。一方で、梅雨明けが早まったことや猛暑の影響により6月後半以降、飲料やアイスクリームといった夏物商材に動きが出ている。(スーパー、中堅企業)
- まん延防止等重点措置の解除により、人流が回復し4～5月の売上高は増加した。6月は天候不順により客足に一服感がみられたものの、梅雨明けが早まったことや夏物セールの実施により、足下の売上高・客数は前年を上回っている。(百貨店、大企業)
- 行動制限が緩和されたことで来店客数が増えているが、半導体供給制約の影響により新車が不足しているため販売機会を逃している。一方で中古車の需要が増加している。(自動車販売、中堅企業)
- コロナの影響が緩和されたことで売上は回復傾向にある。ランチメニューだけでなくグランドメニューの商品もお昼に注文が入るなど、特にランチタイムの売上が伸びている。(飲食サービス、大企業)
- コロナ関係の規制解除を受け観光需要が高まったことで、入場者数が回復している。また、今まで外出できなかった分、高単価のメニューやお土産がよく売れている。(娯楽、中堅企業)

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

生産を業種別にみると、食料品、化学などが増加しているものの、石油・石炭製品、汎用・業務用機械、金属製品などが減少しており、全体として足踏みの状況にある。

- 原材料価格の上昇に伴い競合他社が相次いで値上げをしている中、当社は販売価格を据え置いていることもあり、生産量は好調に推移している。(食料品、中堅企業)
- 4月から5月にかけて設備トラブルが発生したため、生産量は計画比で減少したものの、需要自体は堅調であり、足下では計画通りの生産となっている。(石油・石炭、大企業)
- 鋼材価格高騰の影響を受け、設計変更や建設計画の見直しが生じており、その結果、生産量は当初計画を下回っている。(金属、中堅企業)
- 半導体や部品等の需給ひっ迫に加え、中国でのロックダウンの影響から、需要はあるものの生産できない状況が続いている。(生産用機械、大企業)

■ 雇用情勢 「持ち直しつつある」

有効求人倍率は上昇している。新規求人数は増加している。雇用保険受給者実人員は減少している。

- 営業職は期中でも補充ができるが、整備部門の人材確保が困難になっている。そのため、派遣社員を雇用することで人材を確保している。(小売業、中堅企業)
- 新店開業に見合う人員の確保が難しい状況。足下では同業他社も採用活動を強化しているため、出店拡大の足かせになっている。(飲食サービス、大企業)
- 今年度は一定程度採用することができたが、ほとんどが営業スタッフとしての採用であり、施設や調理といった技術職は確保できていない。引き続きハローワークなどを通じて募集をかけているが苦戦している。(娯楽、中堅企業)

■ 設備投資 「4年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4～6月期

○ 製造業では前年比増減率17.0%の減少見込み、非製造業では同20.6%の増加見込みとなっており、全体では同17.8%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「4年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」4年4～6月期

○ 製造業では前年比増減率55.9%の減益見込み、非製造業では同49.4%の増益見込みとなっており、全体では同28.6%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4～6月期

○ 先行きについては、10～12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を下回っているものの、貸家、分譲住宅は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

○ 公共工事請負金額をみると、前年を上回っている。

県内経済情勢 (令和4年7月判断)

(資料)

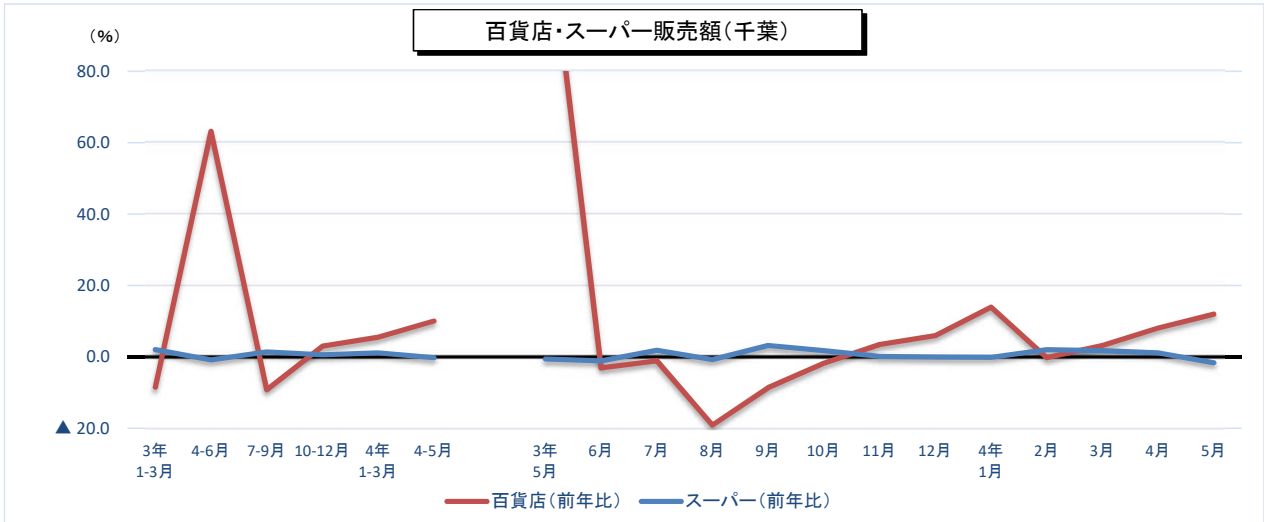
目次	(頁)
1. 個人消費	1
2. 生産活動	2
3. 雇用情勢	3
4. 設備投資	4
5. 企業収益	4
6. 企業の景況感	4
7. 住宅建設	5
8. 公共事業	5

令和4年7月27日

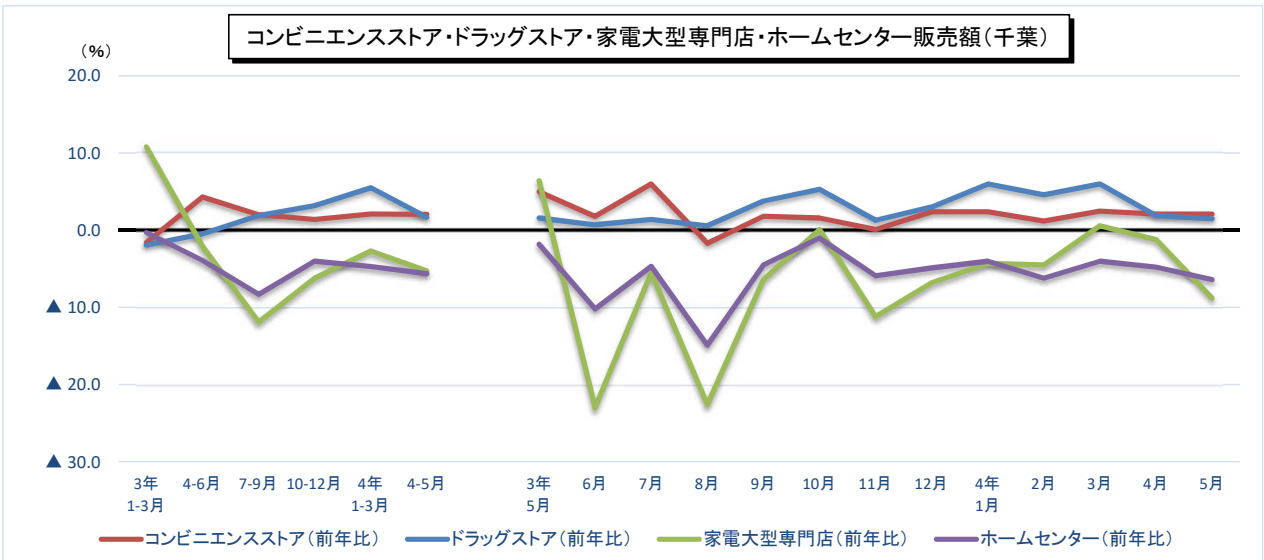
財務省関東財務局
千葉財務事務所

1. 個人消費

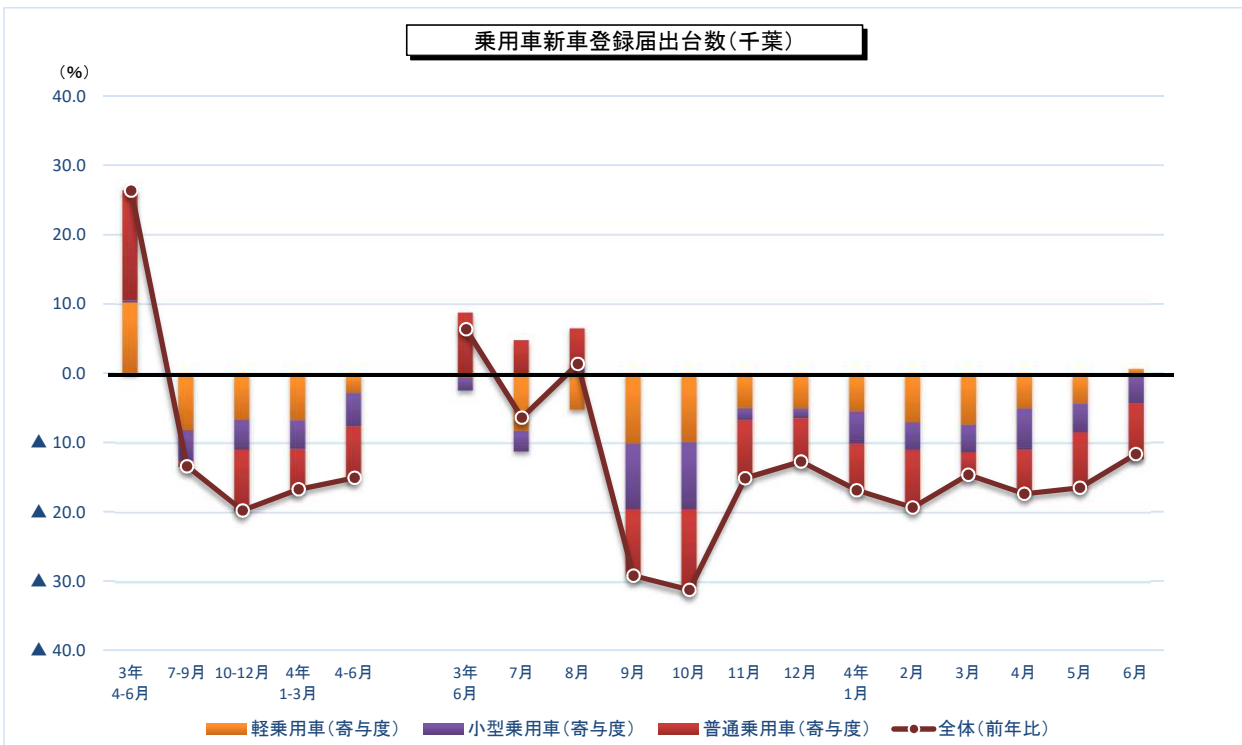
緩やかに持ち直している



[経済産業省]



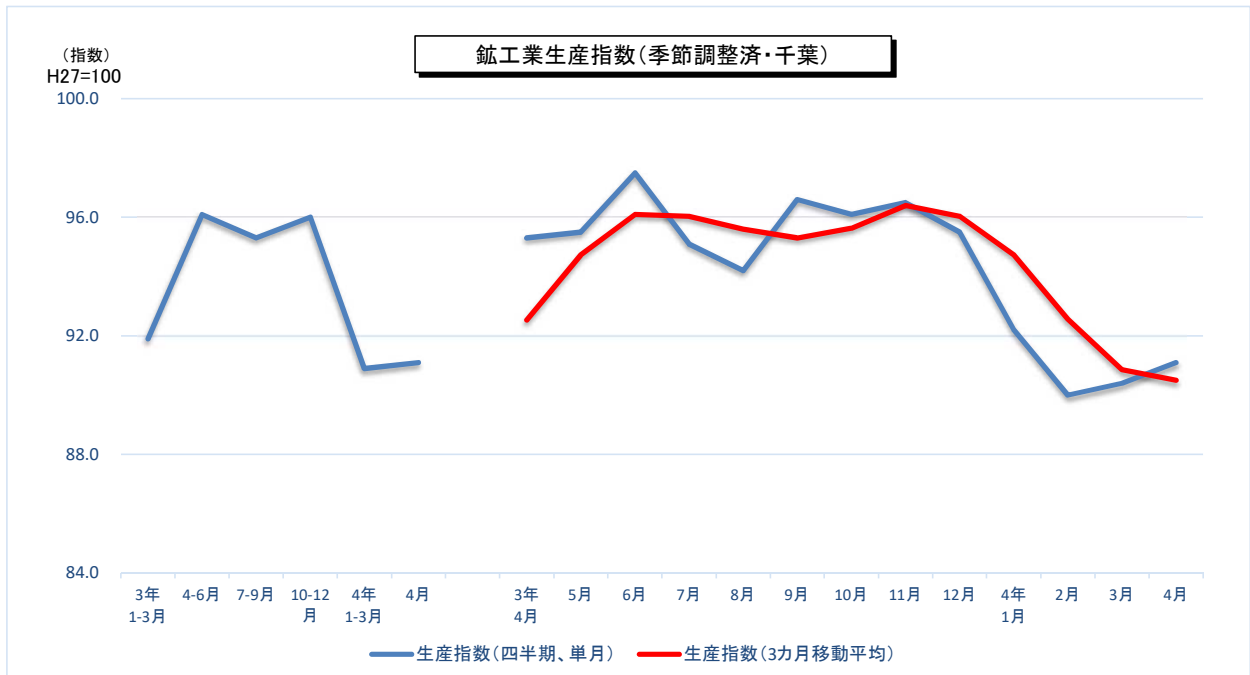
[経済産業省]



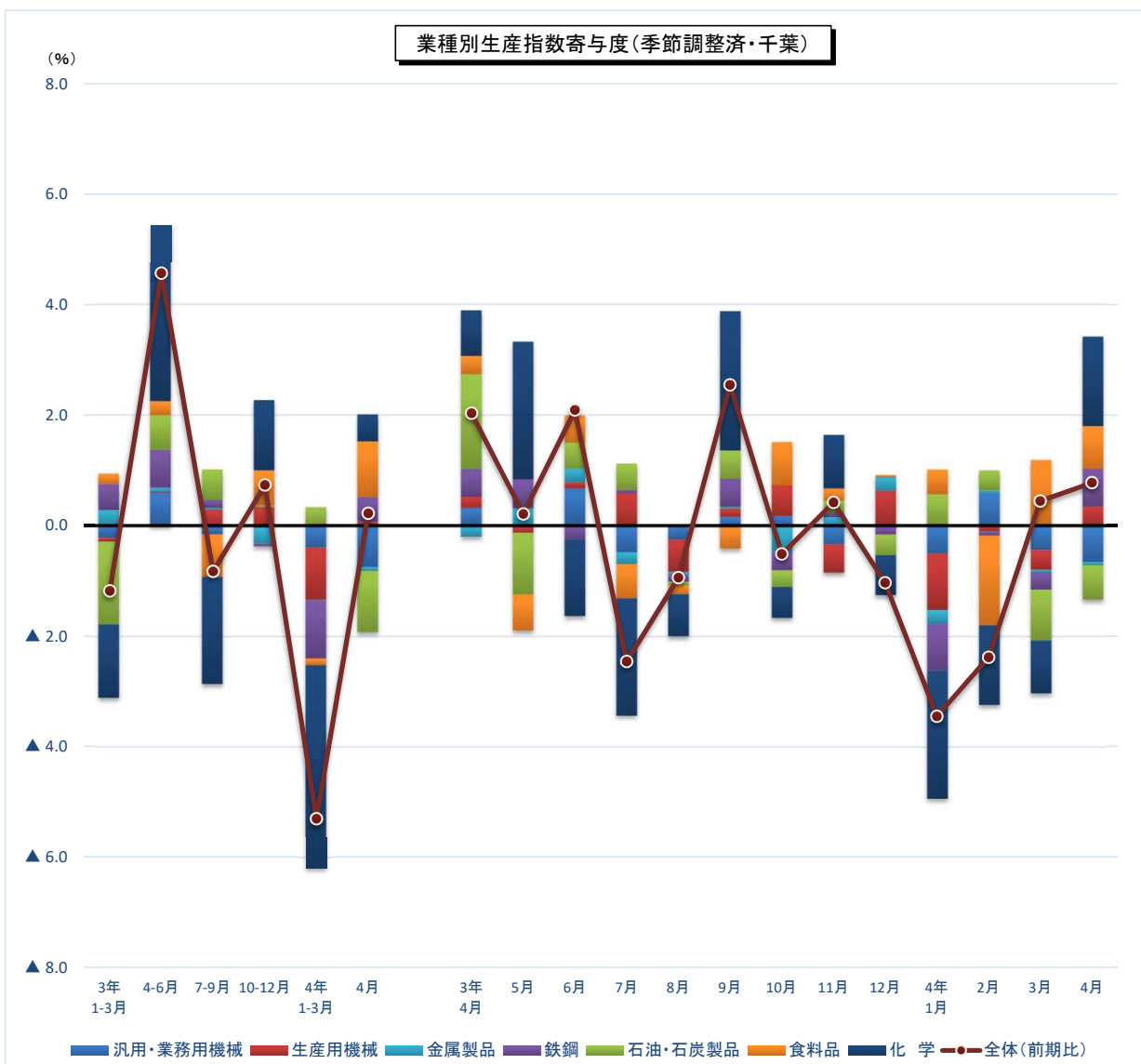
[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

2. 生産活動

足踏みの状況にある



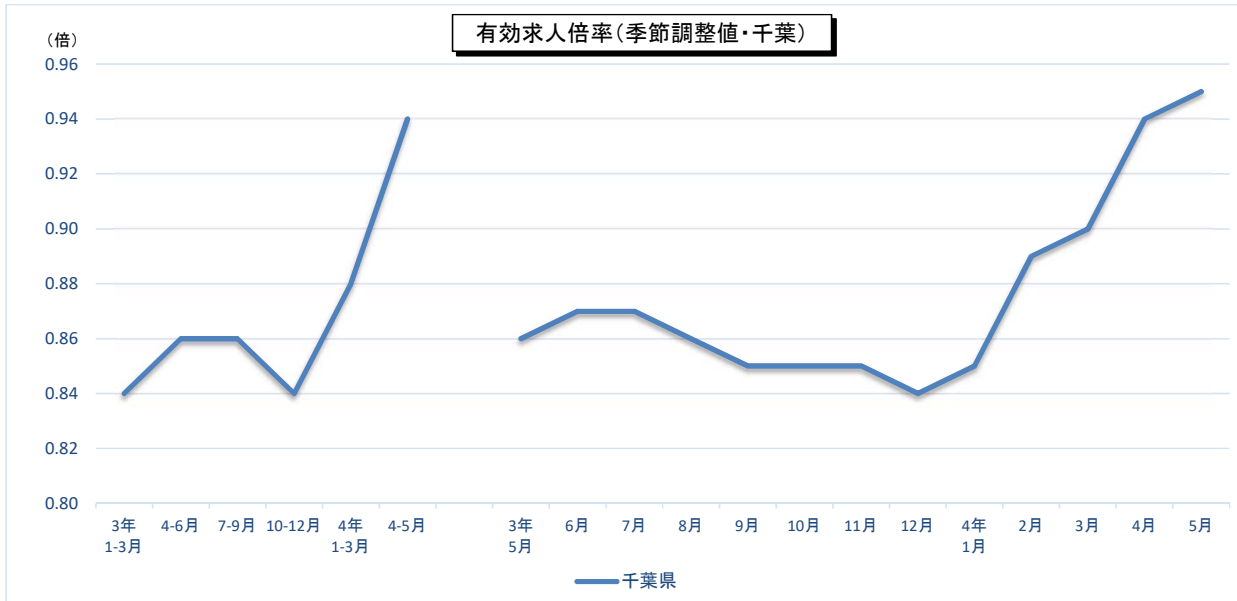
[千葉県]



[千葉県]

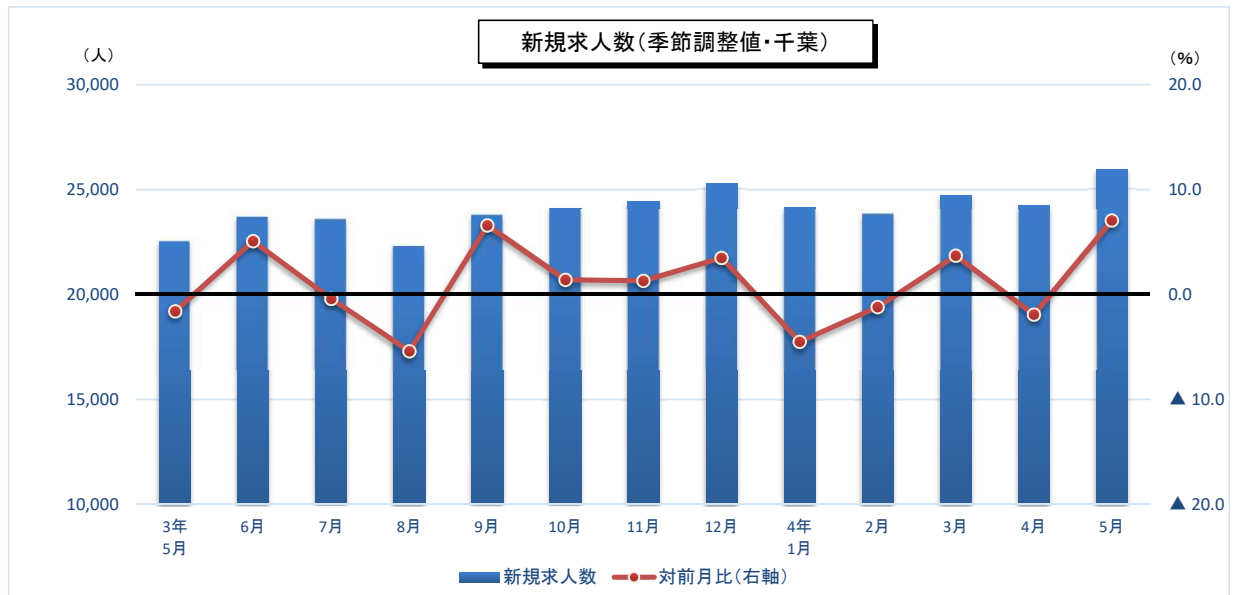
3. 雇用情勢

持ち直しつつある

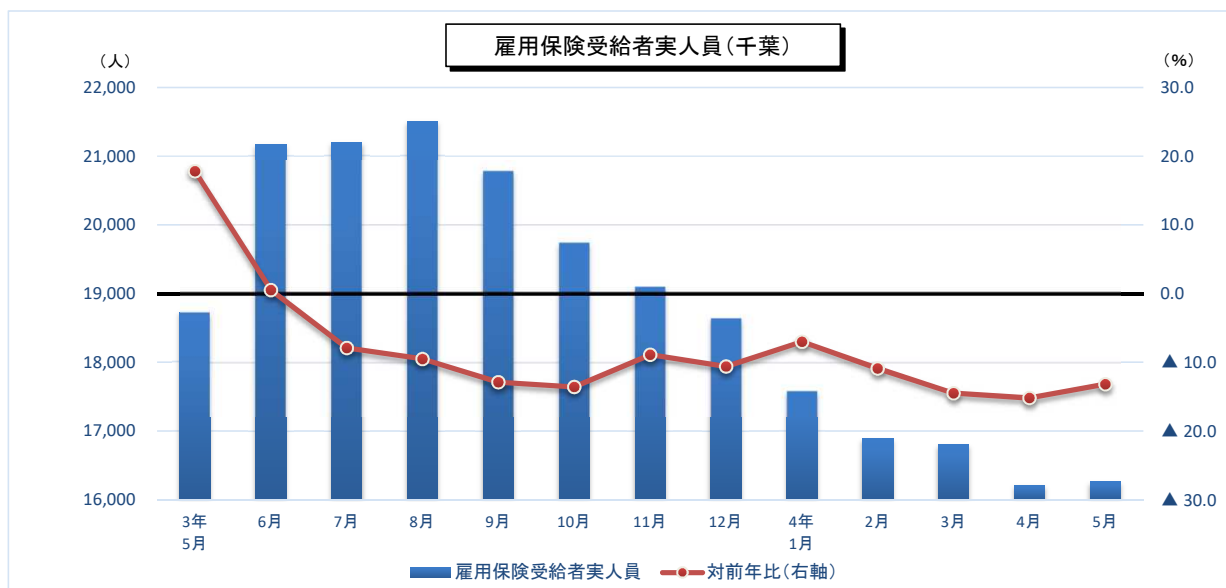


(注)四半期は期中平均である。

[千葉労働局]



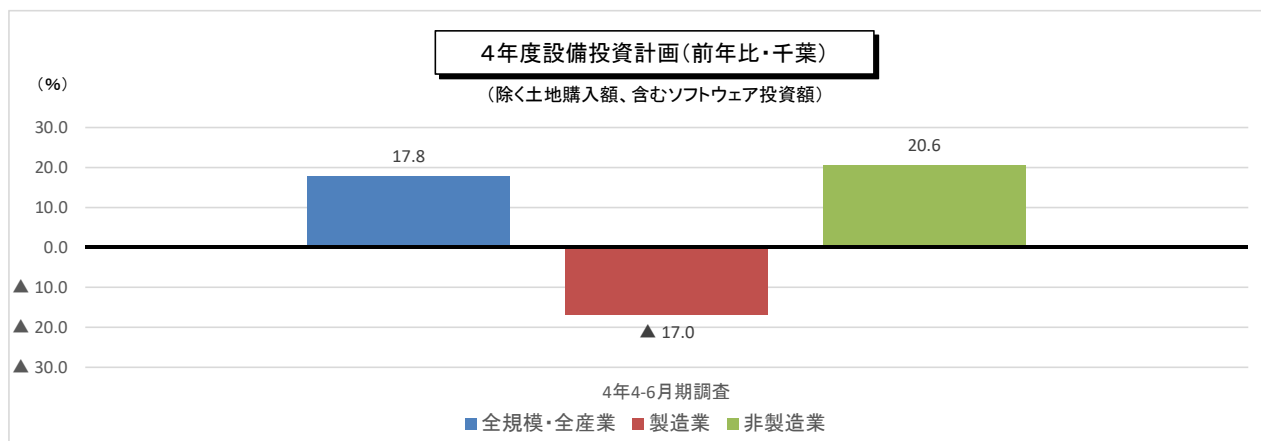
[千葉労働局]



[千葉労働局]

4. 設備投資

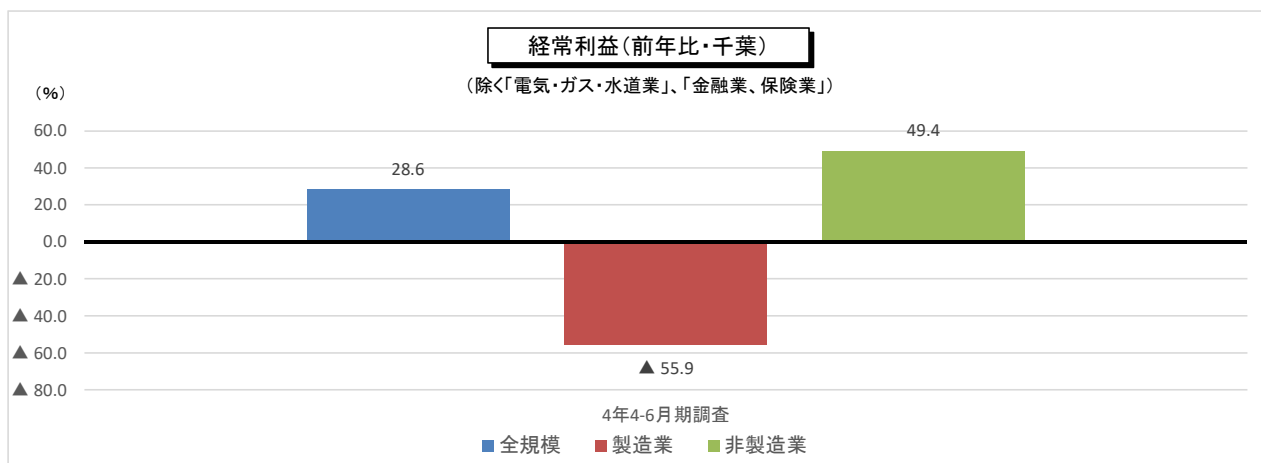
4年度は増加見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益

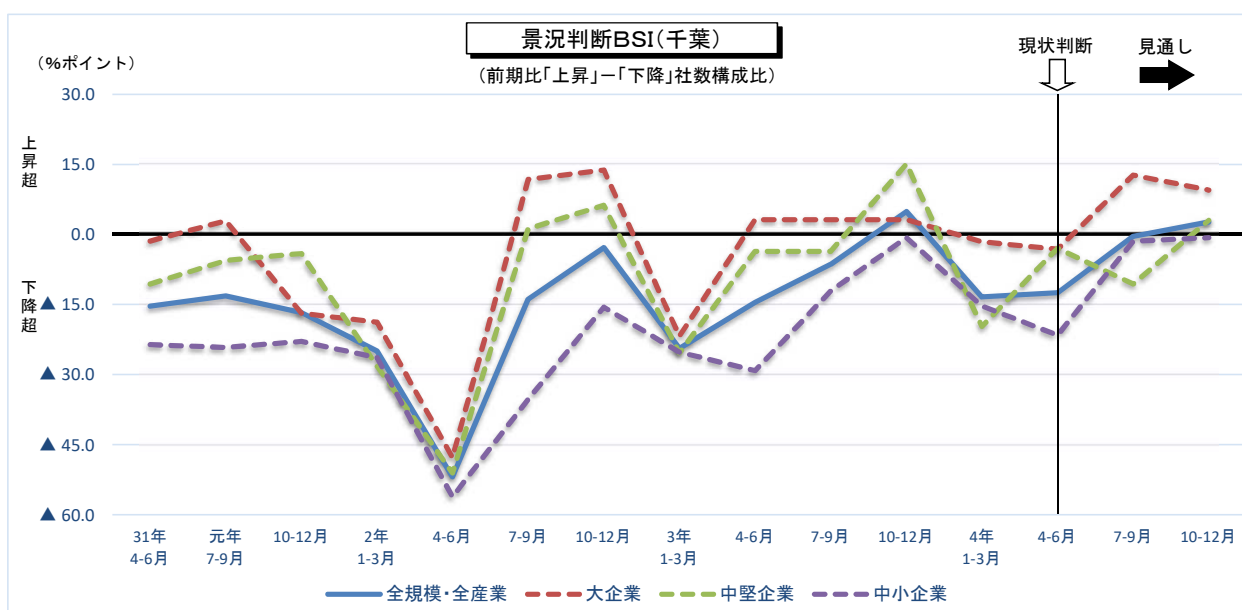
4年度は増益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

6. 企業の景況感

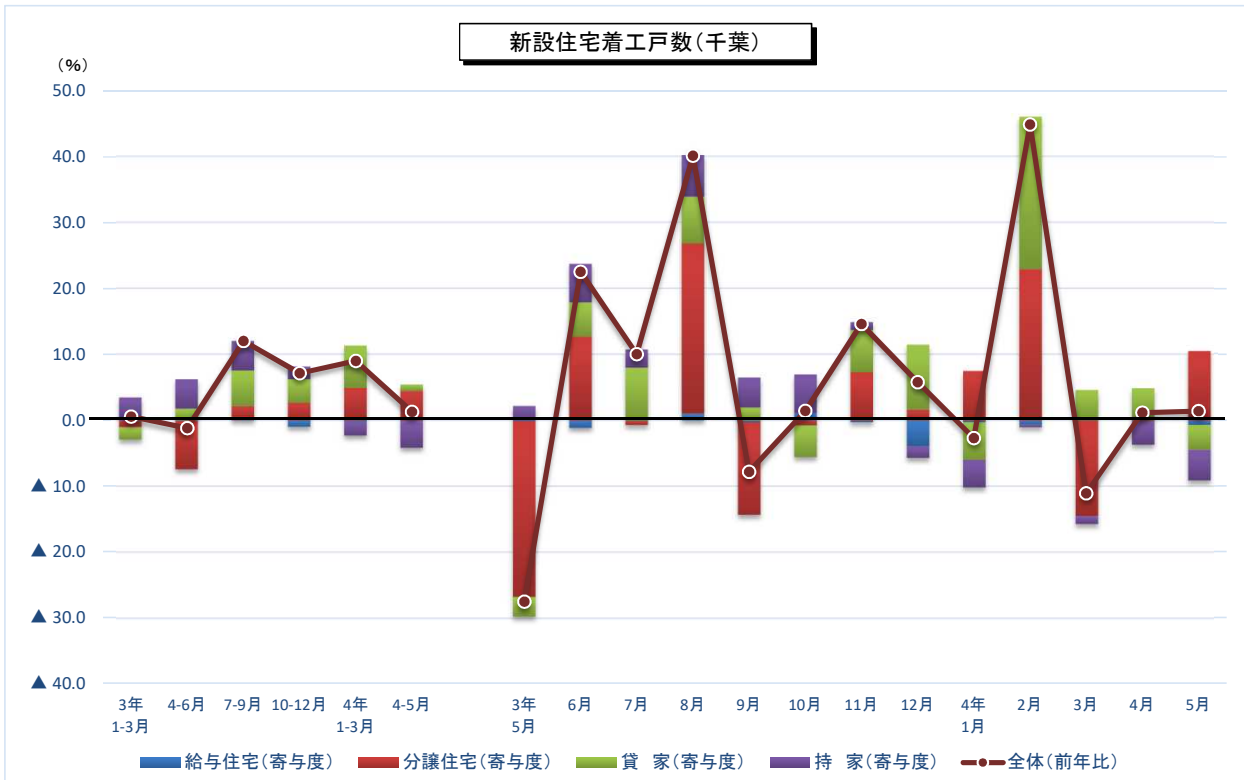
「下降」超となっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

7. 住宅建設

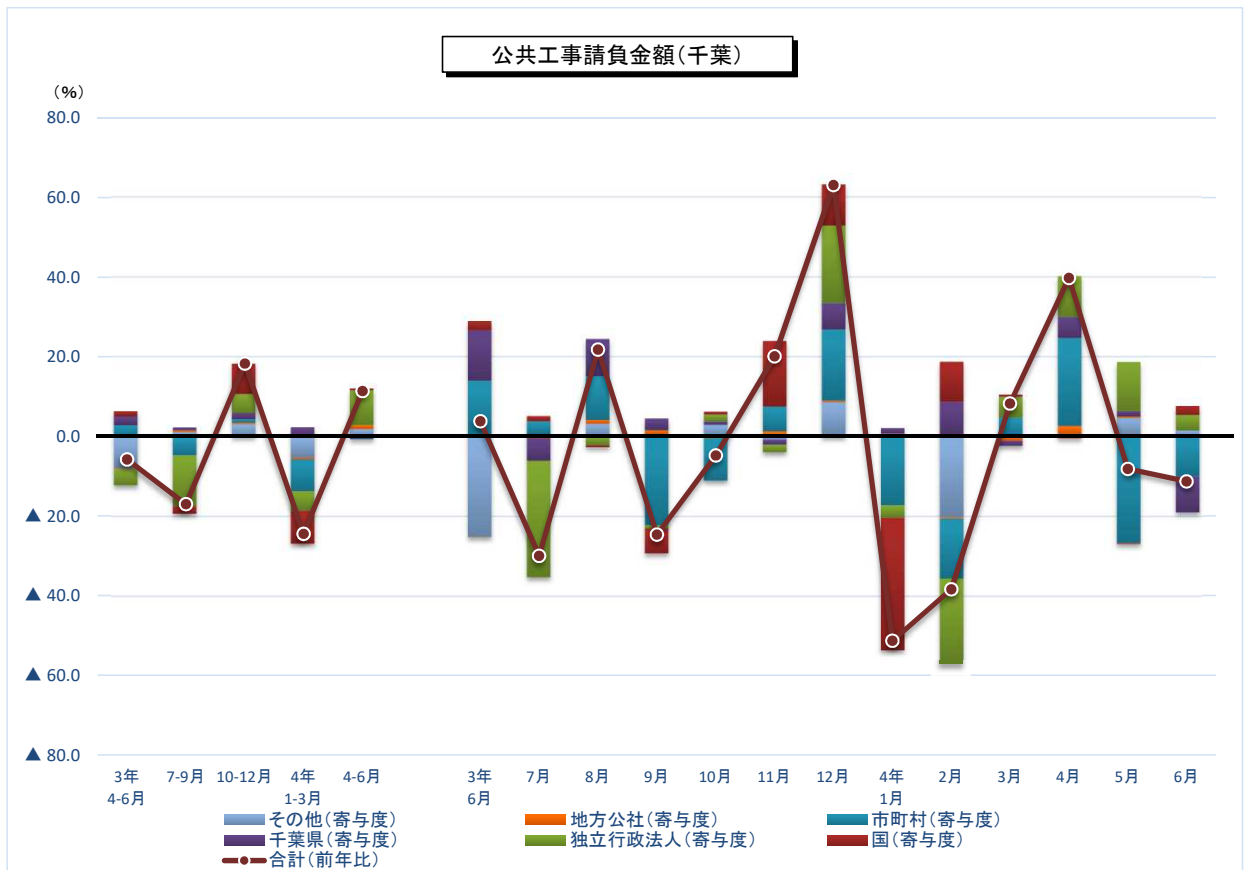
前年を上回っている



[国土交通省]

8. 公共事業

前年を上回っている



[東日本建設業保証株式会社他]